

モニタリングチェックシート（令和2年度）

<評価>

優:特筆すべき実績・成果が認められるもの
 良:管理運営が良好と認められるもの
 要改善:一部において改善を要する点が見受けられるもの

施設名	軽井沢少年自然の家
指定管理者名	軽井沢フード株式会社
評価者	保健給食課長

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> 練馬区情報セキュリティポリシー、個人情報保護条例および情報公開条例に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 練馬区情報セキュリティポリシー等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じている。 労働基準法等関係法令を遵守している。 新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)により、校外学習を中止し、4～5月、1～3月の緊急事態宣言下では施設を休館したため、電気・水道使用量が前年度比53.6%減となった。 管理業務費の経理は、帳簿等を整備し、執行状況を記録する等、適正な会計処理を行っている。
2 施設運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか 計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 施設の利用状況は良好か 利用者アンケート等の評価は良好か 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による区からの指示等について、適切に対応したか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の意見・要望を取り入れ、サービスの向上を図っている。 苦情処理マニュアルを作成し、迅速・適切に対応している。 コロナの影響により、施設の利用者数は3,301人(前年度28,106人)で前年度比88.3%減となった。 利用者アンケートによる満足度は、90.3%であり、評価は良好である。 緊急事態宣言による休館時には、感染防止策を策定し、再開に際しての宿泊者への対応、職員の雇用や賃金収入の維持など適切に対応した。再開後は、施設の貸出部屋数の減、入館時の検温、手指消毒、定期的な換気など感染防止策に取り組んだ。
3 施設の維持管理・安全性への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか 損害保険等の加入状況は適切か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 消防法や旅館業法等に従い、適切に設備の保守点検を実施している。 緊急時対応マニュアルを整備し、防災訓練を行い、危機管理体制を整えている。 施設管理者賠償保険および旅館営業に伴う損害賠償保険に加入し、不測の事態に備えている。
4 効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置がされているか 業務の再委託における範囲は適切か 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 収支計画が提案どおり達成されたか その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 業務に支障のない範囲で、出勤する職員数を抑え、適切な職員数で運営された。 再委託の範囲は専門的知識や技能を必要とする設備等の保守点検業務に限定されており適切である。 コロナの影響により、事業計画および収支計画に変更が生じたが、不要経費を感染防止策経費に充てるなど、適切に調整を行った。また、利用料金収入は、14,629千円(前年度83,391千円)であった。
5 施設特性に応じた管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 区が求めた取組を適切に実施しているか 事業者の提案に基づく取組が適切に行われているか その他、選定の際に設定した取組の評価 	良	<ul style="list-style-type: none"> コロナにより、校外学習が中止となり、施設の休館が続いたため、例年の施設運営ではなかった。しかし、職員は安全に校外学習を再開するため、学校受入時の対応策の検討や活動内容を充実するための準備を行った。 提案事業で示された、「ベルデの森トレッキング」は、利用者から高評価を得た。
6 地域への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか 地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区内業者から、非接触体温計や消毒液・アクリルボード等の感染症対策に必要な物品を調達した。 練馬まつり出店時に軽井沢町の魅力を区民に伝えてきたが、2年度は中止となった。
総合評価 (講評) 良		<ul style="list-style-type: none"> 項目全般について、区が求める水準を満たしている。また、アンケートによる利用者の満足度も良好な水準である。 令和2年度は、コロナの影響で校外学習を中止したため、主に一般利用者の利用に関して評価した。コロナの感染拡大防止について、区の指示に基づき臨時休館や入館時の検温、手指消毒、食堂の定員削減、アクリルボードの設置、換気の徹底等、適切に対応した。